

令和元年5月定例会

# 教育委員会定例会会議録

書記 中村 顕介

書記 星井 絵名

## 塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日時 令和元年5月24日(金) 午後1時30分～午後2時55分

◆場所 ふれあいエस्प塩竈 ミーティングルーム

### ◆出席委員

教 育 長	高 橋	睦 麿	教育長職務代理者	柴田 仁市郎
委 員	太 田	忍 委	員	池 野 暢子

### ◆事務局

教 育 部 長	阿 部	光 浩	教 育 部 次 長	本 田	幹 枝
教育総務課長	佐 藤	聡 志	学校教育課長	遠 山	勝 治
生涯学習課長	伊 藤	英 史	市民交流センター館長	井 上	靖 浩
教育総務課総務係長	中 村	颯 介	教育総務課主査	星 井	絵 名

### ◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
  - ① 東北都市教育長協議会総会について
  - ② 本市の教育活動の状況について
- 5 教育部長報告
  - ① 市議会定例会等について
- 6 専決処分報告
  - ① 塩竈市いじめ防止等対策委員会の委員の委嘱について
- 7 議案
  - ① 議案第3号 塩竈市社会教育委員の委嘱について
- 8 その他報告
  - ① オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について
- 9 閉会

1 開会 午後1時30分

2 前回会議録委員の署名

柴田委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

柴田委員と太田委員を指名

4 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

- ① 東北都市教育長協議会総会について
- ② 本市の教育活動の状況について

[主な質疑]

- ・柴田委員  
コミュニティスクールとは具体的にはどういったものか。
- ・高橋教育長  
現在の学校評議員に近いイメージ。学校の運営方針について学校が提案する、審議会で協議し決定する。そのため、決定に関わった審議会も共同で責任を負うというしくみ。本市では地域との連携がうまくいっているので、将来的に義務化されても移行はうまくいくのではないかと見通している。
- ・柴田委員  
部活動の外部指導者は何人いるのか。
- ・伊藤生涯学習課長  
17人。学校により多い少ないはあるが、玉中は、昨年度までモデル校であったため多い。また、地域に人材がいるかいないかが大きい。
- ・高橋教育長  
地域の力を借りることが大切。部活の後にスポーツ少年団で地域の指導者に引き継いで指導を仰ぐこともある。

## 5 教育部長報告

(1)阿部教育部長から、以下のことについて報告

- ① 市議会定例会等について

〔主な質疑〕

なし

## 6 専決処分報告

(1)遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市いじめ防止等対策委員会の委員の委嘱について

〔主な質疑〕

なし

## 7 議案

(1)伊藤生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ① 議案第3号 塩竈市社会教育委員の委嘱について

〔主な質疑〕

なし

## 8 その他報告

(1)遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について

〔主な質疑〕

・池野委員

この学校を選定した理由は。

・遠山学校教育課長

県内で20校実施することになっており、市町村あたり1～2校程度の割り当てとなる。本市は希望を取ったところ、一中と玉中から申し出があったという経過があった。

- ・池野委員  
講演会などは他の児童生徒にも機会が広がることはあるか。
- ・遠山学校教育課長  
実施情報は市内に周知できるので実施の仕方を検討していきたい。
  
- ・高橋教育長  
オリンピック関連で生涯学習課長からも情報提供を。
- ・伊藤生涯学習課長  
東京の会場で行う大会ボランティアは8万人の枠に13万人の応募があった。また、県内で行う都市ボランティアにも1万3千人も定員を超えそう。研修を行い正式に決定されるようだ。聖火リレーの公募が全国一斉に行われる。夏ごろに正式なコースと応募方法が発表される予定である。狭き門ではあるようだがみなさんでもぜひ応募を。
- ・太田委員  
障がい者スポーツに触れる機会が増えるのはとても良いことだと思う。

[その他]

- ・柴田委員  
いじめ防止は対策について提言等をしているのか。
- ・遠山学校教育課長  
連絡協議会と対策委員会 実務担当者の会議、市内の事例を意見交換し答申としてまとめている。
- ・高橋教育長  
答申はホームページに公開している。
- ・太田委員  
早期の発見と対応が大事。
- ・高橋教育長  
事実の確認。いじめられた子もいじめる子も学校の子どもたち、両方守らなければならない。子ども同士が納得しても親がしこりになってしまうこともある。取組みは手早くなっており、家庭訪問、事実確認、報告の流れが早くなっている。子どもに何かあったときは深く指導するきっかけともとらえ、対応に取り組んでいる。

9 閉会 午後2時30分

《会議録署名委員》

1 番委員

(柴田委員)

2 番委員

(太田委員)